

新潟市教育委員会 令和7年9月 定例会会議録				
日 時	令和7年9月30日(火) 午前10時30分			
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4階 教育会議室1			
教育長	夏 目 久 義			
出席委員 (6名)	中津川 英 子		出席委員	渡 部 雄一郎
	畠 山 典 子			
	石 坂 学			
	神 林 むつみ		欠席委員	高 橋 誠 一
	小 見 直 樹			和 田 有 子
会議出席 教育委員会 事務局職員 (6名)	職・氏 名		職・氏 名	
	教 育 次 長	丸 山 明 生		
	教 育 次 長	山 本 正 雄		
	教 育 総 務 課 長	加 藤 陽 子		
	学 校 支 援 課 長	内 藤 浩 悟		
	教 育 総 務 課 補 佐	相 崎 敦 子		
	学 校 人 事 課 補 佐	相 馬 直 子		
他部署 出席者(0名)				

開会	時 刻	午前 10 時 30 分
	宣 言 者	教育長
付議事件 (0 件)		
報告 (3 件)	和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分について	
	令和 8 年度新潟市立学校教員採用選考検査結果について	
	令和 7 年度新潟市教育委員会表彰被表彰者の選考結果報告について	
協議会 (0 件)		

第1 開会宣言

○教育長

午前 10 時 30 分 開会を宣言する。

これより 9 月教育委員会定例会を開催いたします。

本日の報道はありません。なお、会議中に、報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありましたら、これを許可することにご異議ありませんでしょうか。

(異議なし)

それでは、許可することいたします。

会議録署名委員の指名

○教育長

日程第 1「会議録署名委員の指名」を行います。新潟市教育委員会会議規則第 11 条により、会議録署名委員に中津川委員及び石坂委員を指名します。

第2 報告

○教育長

次に、日程第 2 報告に入ります。

はじめに、和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分について、学校支援課から説明をお願いします。

○学校支援課長

おはようございます。学校支援課です。報告の 1 ページをご覧ください。和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分についてです。

順番が前後いたしますが、3 の報告内容の右側の説明欄をご覧ください。

本件事故は令和 7 年 3 月 27 日、午前 11 時 15 分頃、秋葉区新津第五中学校において発生しました。野球部の活動中に生徒が打ったボールが、防護ネットを越え、グラウンド脇の道路を走行していた車両に当たり、右側前方、ドアガラス付近のフレームを損傷しました。

損害賠償額は、修理に要した費用など 18,221 円となります。

再発防止策については、打球を敷地外へ出さないようにするため、バッティング練習、ノックによる守備練習をする際の注意点、打つ方向、強さなどを指導いたしました。

1 をご覧ください。専決処分日は令和 7 年 7 月 29 日です。同日相手方との間に和解契約を締結しました。

2 報告議会は令和 7 年 9 月議会定例会となります。

報告は以上でございます。

○教育長

ただいまの説明にご質問やご意見がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。こちらにつきましては、少し時期が遅れてしまいましたので、公開での報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

次に、令和 8 年度新潟市立学校教員採用選考検査結果について、学校人事課から説明をお願いします。

○学校人事課

学校人事課です。課長に代わりましてお話をさせていただきます。令和 8 年度、令和 7 年度実施新潟市立学校教員採用選考結果につきましてご報告させていただきます。資料をご覧ください。

教員採用選考検査の結果についてです。1 番上の表をご覧ください。採用予定数は 4 月に報告した、受検案内に記載した数字です。その後、退職希望

者の調査など様々な状況を踏まえ、最終的に 2 次合格者の数を決定いたしました。

太枠で囲んだ、2 次検査合格者数をご覧ください。この数字は今年度受検した大学 3 年生は含んでおりません。今年度は小学校教諭 134 人、中・高共通 81 人、特別支援学校教諭 10 人、養護教諭 5 人、栄養教諭 1 人、計 231 人を合格といたしました。

米印で記載しておりますが、2 次検査合格者の 231 人には、昨年または一昨年に合格し、大学院進学者名簿に登録された 3 人も含んでおります。なお、辞退者が出ることにより追加合格を出す場合があります。したがって、最終的な採用数については後日確定する予定です。

次の表は、1 次検査の大学 3 年生受検に係る結果です。今年度より小学校教諭に加え、中・高共通及び特別支援学校教諭で募集を行いました。全受検者数 96 人に対し 76 人の合格者となりました。合格者は令和 9 年度採用選考検査の 1 次検査が免除となります。

次に倍率についてです。今年度と昨年度を比較した表になります。小学校教諭 1.5 倍、中・高共通 2.4 倍、特別支援学校教諭 1.4 倍、養護教諭 9.4 倍、栄養教諭 11.0 倍、全体で 2.0 倍となりました。昨年度は 1.9 倍でありました。

参考までに平成 29 年度採用以降の出願者数、並びに合格者数の推移を最後の表でお示しました。ここ数年の出願者数はほぼ変わりませんが、合格者数が増加しているために倍率が低くなっている状況があります。

なお、この検査結果につきましては、畠山委員、小見委員から点検をしていただきました。大変ありがとうございました。

以上、教員採用選考検査結果につきましてご報告させていただきました。

ただいまの説明にご質問やご意見がありましたらお願いします。

ありがとうございます。新潟市を受検してくださる学生さんが多いというのは本当にありがたいことだと思っています。倍率を落とさずやられていると思います。

2 つお聞かせください。まず、小学校の採用予定が最初 110 人だったのが 130 人、ずいぶん増えていて、先ほど辞退者が出る可能性があるということで増やしましたという話があったのですけれども、大体どれくらいの辞退者が出るのかということが 1 つ目です。

それから 2 つ目、中・高共通で 80 人採っています。教科の内訳が出ているのですけれども、各教科とも、採りたい教科が採れているのかどうかについてコメントがありましたら、お聞かせいただければと思います。以上 2 つです。

ありがとうございます。まず、1 点目ですが、昨年度で言いますと、辞退を申し出た人、免許が取得できず合格の取消になった人を合わせまして、昨年度は 10 名以上出ました。ここ数年 10 名ちょっとくらいはそういったことで辞退者が出ております。それを見込んでの採用者数となっております。

2 点目につきましては、本年度採りたいと思っている数には達しているところかなと思っています。

ありがとうございました。

○教育長

○石坂委員

○学校人事課

○石坂委員

○教育長	他にございますでしょうか。
○中津川委員	お願いします。毎年質の高い教員採用に向けて、様々なご努力をなさっていることに敬意を表したいと思います。 毎年変更点も出ているようなのですが、1 点目として、昨年から大学 3 年生の選考を開始して、今年は初めてその方たちも 2 次試験からということで臨まれていたかと思うのですが、結果として、最終的に採用となったのかどうかお聞きしたいのと、今年も小学校教諭 5 月への前倒し、大学 3 年生の受検種目を変えられたりなさっていますが、その辺について増加は見られているのかどうか、傾向をお聞かせいただければと思います。
○学校人事課	1 点目です。大学 3 年生の方たちについては今ここに数字を持ち合わせていなくて申し訳ないのですが、優秀な学生さんたちが多く、内定に至っていると思います。 それから採用のやり方等をいろいろ変えてくる中で、取り立ててすごく増えているというわけではございませんが、何とか一定の出願者数を保っている状況かなという風に考えております。特に大学 3 年生の受検の方たちは、新潟市でしっかり働いていきたいという思いで、早めに受検を考えて出願してきていると思っております。
○中津川委員	ありがとうございます。そうすると、来年もこのような方向で試験を予定されるのでしょうか。
○学校人事課	そうですね。はい。
○中津川委員	分かりました。よろしくお願いいたします。
○教育長	他にいかがでしょうか。
○畠山委員	上から 3 番目の表のところで、令和 6 年度との比較という表がありますけれども、元々採用人数が少ない特別支援学校とか養護教諭、栄養教諭などは少しの違いで倍率が大きく変わってしまうところがありますけれども、小学校は 0.1 ポイント、中・高の方は 0.6 ポイント高くなっていまして、中・高がずいぶん数字が上がっていると思うのですが、この辺の分析などありますでしょうか。
○学校人事課	はい、倍率につきましては、特に小学校の方はここ数年採用の枠が広がってきているところがありますので、それによって少し下がってきているところはあるかと思えます。 中・高で伸びてきているというところは、専門性を生かして大学で学んできたところで中・高の免許を持ちながらも、小学校であえてやりたいのだということで受検している人たちもいます。さらに、もしかすると、令和の早い頃、倍率がなかなか高かった時に、新潟市の中・高共通の倍率が高く、狭き門というイメージが、もしかしてあったかもしれません。それがここ数年枠が広がってきているというイメージを持たれて、県で数年勤めていた方たちも受けてきているという状況がございます。
○畠山委員	いろいろな状況を知ることができました。ありがとうございました。
○教育長	中学校は平均では 2.4 倍となるのですが、個々の教科で見ると 2.4 を超えているところはあまりないので、ちょっと突出したところがあるという傾向があるのかと思います。

○石坂委員

もう1つお願いします。今の話題の中で、中・高の倍率が高い教科、体育などがあるわけですが、こういうところに優秀な学生さんが集まっていた場合、不採用にするのはもったいない気がするのです。例えば英語や体育で、小学校の第2希望と言うのですかね、そういうものが選択できるようなシステムがあると、例えば中学校体育で採用にならなかったのだけれども、小学校採用でどうでしょうかという声かけができるような制度というのは設定できないのかなという風に思います。場合によっては小学校に3年とか5年いた後、中学校へ異動のチャンスも出てきますというようなことで、小中の交換人事にもなりますので、そういうような形で幅広い採用と言うのでしょうか、教員になりたいんだ、でも体育は難しい、1発でなかなかない、こういう足踏みしている学生さんを、小学校で一旦採用して、体育専科、英語専科というような形で採用されるというような制度はどうでしょうか。もしよろしければ、委員会内でご検討いただければと思います。

○学校人事課

はい、いただいたご意見を参考にしながら検討して参りたいと思います。

○教育長

他によろしいでしょうか。よろしければ次に進みます。

次の、令和7年度新潟市教育委員会表彰被表彰者の選考結果報告については、公表前であることから、非公開としたいと思います。ご異議ありませんでしょうか。

(異議なし)

それでは公開案件の終了後に非公開案件として再開し、報告いたします。

続きまして、日程第3次回日程について、教育総務課から説明をお願いします。

第3 次回日程

○教育総務課長

10月につきましては、10月20日(月)、時間は午後3時30分からを予定しています。

第4 公開終了

○教育長

以上で、公開案件を終了します。これより定例会を非公開といたします。

第5 定例会(非公開) 報告

第6 定例会閉会

○教育長

これで定例会を閉会します。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

石坂 学

署名委員

中津川 英子